

イベントスケジュール ハケ岳 天狗岳

[トップページ](#) > [AMC](#) > [2013年2月16日～17日](#) ハケ岳 天狗岳

[トップページ](#)

[YFクラブの紹介](#)

[イベントスケジュール](#)

[ロッククライミング](#)

[登山・トレッキング](#)

[登山・トレッキング
\(雪山\)](#)

[スノーシューイング](#)

[アイスクライミング](#)

[AMC](#)

[ロングトレイル](#)

[イベントカレンダー](#)

[各種イベントについて](#)

[イベント写真](#)

[アウトドア知識](#)

[各種申込書](#)

[イベントレポート](#)

[お知らせ](#)

[YFサポーターの紹介](#)

[よくある質問](#)

[クライミングジム
NOSE](#)

[ラブジース
\(ネットショップ\)](#)

[リンク](#)

Sponsored by mammut



サイト内検索

検索

Powered by Google

2013年2月16日～17日 ハケ岳 天狗岳

このイベントに参加する
(YFメンバー用)



イベント概要

<2,646m/ハケ岳>

このイベントで、ステップアップ項目の3つ(雪上生活、登山技術、ロープワーク)を重点的に学ぶため、雪上での1泊のテント泊と天狗岳(2,646m)へ登る中で、下記の実技講習1～4を実施します。冬の天狗岳は登りやすく、雪山の技術習得を行いやすく初心者にはおすすめです。

今回のイベントは、[【AMCwv2012】\(5回セットコース生\)](#)と合同で机上講習と実技講習を行います。

【AMC 実技講習1】登山技術でもっとも重要な技術の読図に挑戦してみましょう。まずは自分のいる位置を25,000分の1の地形図で正確に示すことが重要です。そのため、地図の見方(地図記号と等高線)、コンパスナビゲーションの基礎(磁北、真北)、道具使い方(地図、コンパス、高度計)の、地形判別の基礎(尾根、谷)を学びましょう。

【AMC 実技講習2】登山の登下りとロープワークの練習をしましょう。登下降技術(つぼ足、キックステップ)、フロントポインティング/フラットフットイング等の練習やピッケルの使い方、滑落停止訓練、耐風姿勢、アンザイレンを学びましょう。

【AMC 実技講習3】テントを張って雪上生活の実践です。テントの張り方の復習、様々なテントの張り方や、テント内での生活を学びます。テント内では、防寒着を着こんで暖かくして休みましょう。テント内での生活全般と水作りの実践もやりたいと思います。

【AMC 実技講習4】1日目に学んだことを復習しながら、天狗岳へ登頂します。練習のため、アンザイレン、滑落停止訓練、登下降等の技術も復習しながら登り、技術の定着を重点的に実施します。

【AMC 実技講習5】雪山登山でもっとも危険なリスクである雪崩に対しての事前対策の実践です。雪崩地形の判別、危険箇所の認識、チームでの行動方法、三種の神器、スノーピットと弱層判定等を実施します。

(YFイベントにご参加の際は、「[YFイベント規定](#)」をよくお読みください。)

参加ご希望の方は「YFイベント参加申込書」をご提出ください。メンバーの方は[こちら](#)。初めて参加する方と、一般参加の方は[こちら](#)から。

過去のイベント風景

2012年3月3日(土)～4日(日)

[【AMCwv2011】2nd STEP ハケ岳 天狗岳/雪山登山 ハケ岳 天狗岳](#)

イベント詳細

開催日 : 2013年2月16日(土)～17日(日) **<参加受付終了>**

天候等によりイベントを開催できない場合は、出発前日の午後8時までにご連絡します。

参加料金 : メンバー 26,250円

料金には、講習料、宿泊費(テント泊)、食事(夜1)、消費税が含まれています。交通費は無料です。

※入浴代は、含まれていません。

集合場所 : 新宿駅のJR線南口改札を出たところ。2013年2月16日(土)午前7時集合。改札を出ると目の前に大きな柱が立っていますので、その周辺にお集まりください。

宿泊先 : テント泊<黒百合ヒュッテキャンプ場>

保険 : 登攀用の保険に個人で加入されていない方は、**必ず国内旅行総合保険(クライミング・登攀)にお申し込みください**。保険加入ご希望の場合は「国内旅行総合保険加入申込書」をご記入の上、保険料を当日までにお振込み下さい。当日、お支払い頂くことも可能です。この保険の**補償内容と保険料**について。

国内旅行総合保険(クライミング・登攀)

②保険料 1,000円 ③保険料 2,650円(搜索費用150万円附帯)

サポーター : 岡村 俊明
(サポーターの人数は、参加者の人数によって変更する場合があります)

スケジュール : 2月16日(土)
07:00 新宿駅集合、YFクラブの車にて天狗岳登山口(奥蓼科温泉)へ移動(途中、パーキングに1回、コンビニに1回停まります。食事、行動食を持参されていない方はここでご用意下さい。)
10:30 奥蓼科温泉到着【AMC 実技講習1】
11:30 登山開始
12:10 八方台の分岐
14:30 黒百合平到着
→テント設営
15:00～16:30【AMC 実技講習2】
16:30～18:00【AMC 実技講習3】
2月17日(日)
06:00 登山開始(必要のない荷物はテントに置いていきます)【AMC 実技講習4】
09:00 東天狗山頂
10:30 黒百合平到着【AMC 実技講習5】
→テント撤収
11:30 黒百合平出発
13:30 奥蓼科温泉到着
→温泉にて入浴予定(自己負担)
※天候等により、コース、内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

持ち物・装備

○=必要な物 △=あれば便利な物
※下記の装備を新たに購入する場合は、ぜひ事前にご相談ください。

装備		
○	靴	雪山に対応できる(10～12爪のアイゼン装着可能なもの)登山靴。
○	靴下	厚手のものでウールがよい。1泊2日以上雪山登山では、替え靴下を用意してください。
○	スパッツ(ゲートル)	靴の中に氷、水が入らないように足首を覆う物。
○	ズボン	撥水性、ストレッチ、生地が強いものが好ましい。
○	シャツ	動きやすく、保温性、速乾性の高いポリエステル系素材が好ましい。また、メリノウール等の肌触りがいい保温性の高いものもおすすめです。
○	長袖シャツ	動きやすく、保温性、速乾性の高いポリエステル系素材が好ましい。
○	ジャケット(防寒着)	ダウンジャケットやフリースなど。
○	マウンテンウエア(アウターシェル)	雪山にも対応できる、上下が分かれているゴアテックス等の防水性、透湿性の高い素材のもの。
○	手袋(雪山用)	防水性がある雪山用の手袋。
○	帽子	耳がかくれるフリース又はウール等の保温性の高いものが好ましい。
○	目出し帽	風が強いときにはあると助かります。雪焼け防止にもなります。
○	サングラス	雪目防止。特に女性は、日焼け止めもあれば便利です。
○	ザック	40～55L程度。テント、食料、ロープ、シャベル等の共同装備(1.5kg程度/一人)が入るスペースを確保しておいてください。
△	ザックカバー	降雪時には便利。
○	寝袋(シュラフ)	4シーズン以上のもの。
○	シュラフカバー	保温性を高めるだけでなく、寝袋の機能を低下させません。
○	テントマット	空気を入れて膨らますエアマット(厚さ3cm以上)が好ましい。
○	コップヘル	火にかけられるもの。フォーク、スプーン、はし、コップも忘れずに。(ティバックやインスタントスープなど好きな飲み物もお持ちください)
○	行動食	パン、ソーセージ、おにぎり、あめ、チョコレート等のカロリー補給ができるもの。往路に立ち寄るコンビニエンスストアで、用意することもできます。
○	朝食	1食分。レトルト、フリーズドライで簡単に摂れるもの。
○	ヘッドランプ	頭に付けられるもの。
○	ライター	
△	ナイフ	
○	タオル	バンダナやハンカチでもけっこうです。
○	水筒	500ml程度の保温できるものが多い。
○	トイレットペーパー	芯を抜いておくとう便利です。
△	地図	今回の講習で使用する地図はYFクラブが準備します。
○	コンパス	
○	筆記用具	
○	雪袋	2枚。水作りの際に雪を集める袋。使用していないゴミ袋で十分です。
○	健康保険証	コピーでもかまいません
○	救急薬品	常備内服薬、バンドエイド、包帯、各種軟膏等。
○	入浴セット	下山後、温泉に立ち寄ります。
登攀具・講習・練習のため下記の登攀具は必須です		
○	ハーネス	クライミング用のハーネス。マウンテンウエアの上から装着するので、ロッククライミング用より大きめがおすすめ。装着できるかどうか、自宅で試しておいてください。アルパインハーネスでも良いですが、クライミング用のハーネスが望ましい。

☐	ピッケル	
☐	ヘルメット	山岳用。※無料レンタルをご希望の場合は、イベント申込書「コメント欄」に記載して下さい。
☐	アイゼン	10～12爪の雪山用のアイゼン。
☐	安全環付カラビナ	2個。手袋をした状態で、片手で開閉できる大きさが良い。
☐	フリーカラビナ	2個。手袋をした状態で、片手で開閉できる大きさが良い。
☐	スリング	60cmソーンスリング1個、120cmソーンスリング1個。雪山ではダイニーマで細いものが使いやすい。
☐	確保器	1個。クライミング用のビレイデバイス(ATC、ルベルソ等)。オートビレイ器(グリグリ等)は不可です。

Copyright 2001-2012, YF CLUB, All Rights Reserved |[お問い合わせ](#)